

リーディング DXスクール事業【実践事例】

久喜市立鷲宮東中学校(埼玉県)【指定校】

【取組内容】自ら課題を見出し、自らの方法で解決できる生徒へ向けた基盤づくりを目指した実施内容

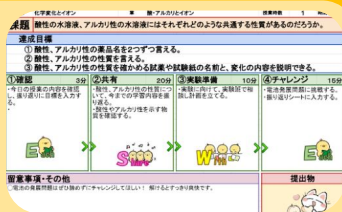
研究課題「自らが社会の創り手となり、学びを自己調整する力の育成」～学習者主体の授業デザインを通して～

研究委嘱(1/2年目): 私達がICT機器を用いた複線型授業、単元のゴールを意識した授業の実践・協議すれば、生徒は自らで見つけた課題を、生徒が選んだ(考えた)方策で解決していく基盤ができるだろう。という予測を基に、各教科での個別最適な学びに向けた取り組みと問題解決スキルを身につける、2軸で研修課題に取り組んだ。

各教科での個別最適な学びに向けた取り組み

興味を持つことで
集中力も高まります

ルーブリックを
用いた本時の流れ



引き込む

初めてのことは今まで
通り丁寧に、たくさん
の方法を伝える

自由進捗で何度も先生に
聞きに来る生徒

丁寧に伝える
試させる使って
考えさせる

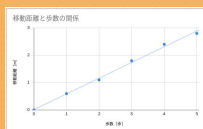
授業で見つけた
自分のやり方で、
課題解決

個(孤)別の学び
一斉授業

一つ一つ丁寧に チャレンジの前後を大切に

個別最適な学び
自らで見つけた課題を
自らの方法で解決できる

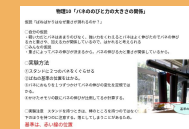
教科書の読み方、クロームの
使い方まで基本は丁寧に



情報収集は教科書、人、
オンラインでの他者参照 etc.



各授業で学んだスキルを
生かして、整理・分析



身に付けたスキルの活用
・旅行者に修学旅行の企画を発表
・震災の際避難所で私達ができること
・生徒が計画実行したビブリオバトル



問題解決スキルを身につける

課題の設定

情報の収集

整理・分析

まとめ・発表

リーディング DXスクール事業【実践事例】

久喜市立鷲宮東中学校(埼玉県)【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業研究

4月～10月 教員の理解を深める「丁寧に伝える授業とは？使って考えさせる授業とは？」

単線型と複線型のハイブリッドを目指しスタートしたが「どこまで教師が教え、どこまで生徒に委ねればいいのか」が本校のはじめの共通課題となった。そこで、授業での課題・過程・形態の 3つの視点に注目しながら相互参観を行い研修を進めた。

相互参観で用いた 3つの指標

	試させる			丁寧に伝える			使って考えさせる			自らで見つけた課題を自らの方法で解決できる		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
課題	教師がほぼ決定している			生徒が選択肢の中から選んでいる			生徒が自ら見つけ、決めている					
過程	教師が意識して回している			生徒が教師の設定した過程を進めている			過程のすべてを生徒が決定し進めている					
形態	教師が誰と学ぶのかを決定している			教師が設定した中から生徒が決定している			生徒自らが誰と行うかを決定している					

相互参観の意見交換シート

課題	過程	形態	コメント(感想・質問でも可)
5	7	1	classroom Englishによる指示と短い日本語の説明のバランスが良い。机間指導で気になる生徒に声をよくかけており、生徒が安心して授業に参加できる雰囲気をつくっている。ALTとの英会話も自然で良い。生徒はともかく英語を使って、活動に取り組んでいる。翻訳機能をどのように使わせるかは検討が必要。
1	4	1	丁寧に、生徒も落ち着いて授業を受けているが、日本語の説明を減らし、指示は英語で。答えの確認、やりとりも英語で。生徒が英語を使う、触れる時間を1時間の中でできるだけ多く確保できるように環境づくりに挑戦。デジタル教科書は使い方には慣れている。
7	7	8	タイマーを使って、生徒の活動時間をマネジメントしている。説明も何に取り組むか簡潔であり、生徒がよく集中して聞いている。生徒は自ら誰と学ぶか決め、課題に取り組んでいる。すぐに友達と活動を始めた生徒もいるが、一人で考えている生徒もいる。また、わからないことを教師に質問している生徒もいる。一人ひとりの進捗状況を把握し、孤立した学習者や学びが進まない生徒を見つけ、支援ができると更によい学習環境になると感じた。

丁寧に伝える・使って考えさせる

丁寧に伝える

- ・1つの方法ではなく、1つの課題 に対して複数の解法を伝えることを意識
- ・クラスルームに本時のポイント がまとまったスライドや動画の 掲載

使って考えさせる

- ・クラスルームに本時のポイント がまとまったスライドや動画を 掲載することで、説明が最小限 になり生徒の学習活動の内容的 量や時間的量を確保



相互参加によって広まった自由進度学習



その授業のポイントを抑えたうえで、生徒たちにどのように学ぶか(個人・友達と・先生にもう一度聞く)を選択させる自由進度学習が多くの授業で取り入れられた。授業での会話が活性化した。

10月の支援担当訪問から振り返る本校の新たな課題

授業のスタイルが変わりつつある中で、教科の見方考え方が薄れてきてしまっている。教科の特性は薄れてはいけない。自由進度学習で生徒たちが自身の力を伸ばす選択ではなく、仲良しや楽しいを優先してしまっている。

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業研究

10月～1月 ルーブリックを用いた授業「教科の特性を意識し、生徒自身が力を伸ばす選択をするには？」
支援担当訪問の振り返りを踏まえ「生徒が教科の特性を意識しながら自身の力を伸ばす選択をする」ために、ルーブリックを授業で提示することで、自身の力に合わせた選択を取れるような授業づくりを意識した。

校内研修: ルーブリックについて

文部科学省初等中等教育局GIGASuDX推進チームから
情報提供をいただきました。



生徒に伝わるルーブリックとは？

・教師用のルーブリックは表現が難しく、すべての生徒に伝わるものではなかった。生徒たちに分かるルーブリックの表現を検討した。

校内研修シート 例:数学

教師用			→
	C	B	A
知識及び技能	Bに満たない	三平方の定理の意味を理解し、基本的な問題を解くことができる。ビタゴラス数の概念を理解している。 三平方の定理を用いて、与えられた条件から未知の辺の長さを求めることができる。 簡単な図形の面積や体積を求めることができる。	三平方の定理の意味を深く理解し、様々な問題に適用できる。ビタゴラス数や特別な直角三角形の辺の比を覚えている。 三平方の定理を用いて、未知の辺の長さを正確に求めることができる。 図形の性質と関連付けて、問題を解くことができる。

生徒たちにも分かるルーズブリック

<知識・技能>

A...①三平方の定理を様々な問題に適用できる。複雑な図形でも、三平方の定理を適切に使い分け、問題を解決できる。

②直角三角形の辺の長さの関係を数式と図で正確に説明できる。

③三平方の定理を用いて、未知の辺の長さを正確に求めることができる。

B...①三平方の定理の基本的な問題を解くことができる。
②直角三角形の辺の長さの関係を説明できるが、図を用いた説明が不十分な場合がある。

③三平方の定理を用いて、簡単な問題を解くことができる。未知の辺の長さを求める式を立てることができる。

1/21 支援担当訪問

ループリックを用いたことで、教師が教科の特性を意識して授業を構成することができるようになってきた。また、教科の特性が薄れるという課題点について、ループリックを用いたことで、自由進度学習の方向づけができ、生徒が学習を進める中で道をそれることが少なくなった。

生徒たちは自由進度学習に少しずつ慣れてきて、孤立している生徒が固定化してきている反面、その生徒への教師の支援も届くようになってきた。また、「誰と学ぶか」を目的を持って取り組めるようになってきた生徒も見受けられる。しかし、全体の雰囲気としてはまだ、「仲の良い子と学ぶ」が多いので、ルーブリックを活用して、目的を持った学習形態の選択をさせる必要がある。

[illegible]

1月の支援担当訪問から振り返る本校の新たな課題

生徒にとってわかりやすいルーブリック(どの場面で提示するのか、どんな内容か)とはどんなものか？生徒が自らよりよい姿になりたいと思えるようなルーブリックを作成・提示することが必要である。

リーディング DXスクール事業【実践事例】

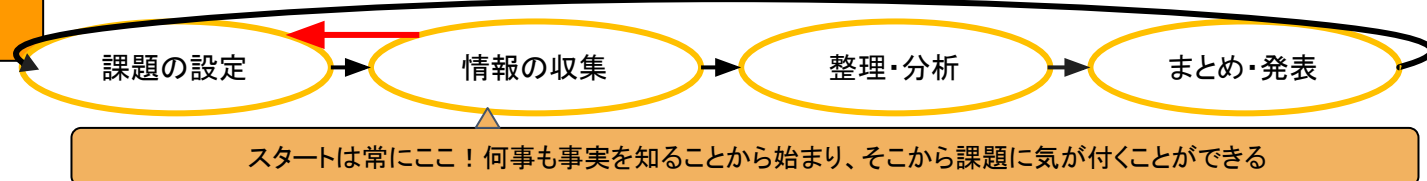
久喜市立鷺宮東中学校(埼玉県)【指定校】

【取組内容】しっかりと読み取ることから始まる情報活用能力の育成

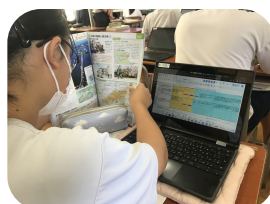
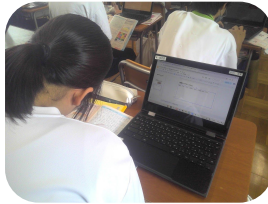
正しい事実を知ることから始まる問題解決

情報活用能力という、ICT機器を用いて調べる・まとめるということに着目しがちだが、本校では事実を知ることから課題が生まれると考え、正しい事実である教科書の読み取りから丁寧に行っていった。

問題解決の流れ

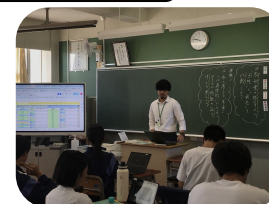


情報の収集・課題の設定



教科書を読み取る生徒 本時の自分の課題を記入する生徒

クラウドを用いた情報の収集



クラウド上で他者とつながる生徒 (他者参照)生徒

教科書の読み取りから丁寧に

・教師が事実を伝えることも大切だが、教科書の読み方から丁寧に伝えていけば自ら情報を獲得できる生徒の育成につながる。魚を渡すのではなく、魚の釣り方を伝えることに大きな価値がある。情報活用能力の第一歩。

振り返りシートの活用

・全校で取り組んだ振り返りシートも、自分の現状という事実を知るために重要なツールとなった。各授業を振り返ること、分かったことや次の授業の課題などが見えてきて、学びにつながりが生まれた。

1人でやっているようでも 1人じゃない

・学習スタイルは人それぞれだが、1人でやるという選択をした生徒にも多くの意見に触れてほしい。そこで、クラウド上のリンクを用いた他者参照を多く実施した。これにより見たときに誰かの情報にアクセスでき、自分の考えだけでは自信が持ちきれないときにも後押しとなった。

他者参照から始まる話し合い

・1人でやるという選択をした生徒でも、他者参照により同じことに興味を持っている生徒に声を掛け合い、新たなつながりも生まれた。

リーディング DXスクール事業【実践事例】

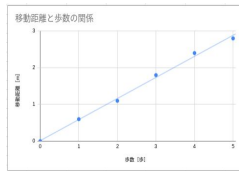
久喜市立鷲宮東中学校(埼玉県)【指定校】

【取組内容】しっかりと読み取ることから始まる情報活用能力の育成

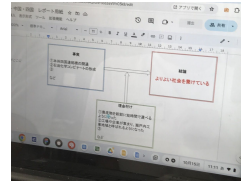
整理・分析 まとめ・発表の仕方も丁寧に伝える

集めた情報を整理する時間やまとめる時間は今までの取り組みでも行ってきたが、本研修では ICT機器の操作の仕方から、どのようにスライドにまとめたら聞き手は見やすいのか、どのように発表したら伝わりやすいのかなど、ここでも丁寧にやっていった。

整理・分析



問題文「大塚の歩むと力大さの関係」
 問題「大塚の歩むと力大さの関係を調べよう」
 ①表の作成
 ②表の読み取り
 ③表の読み取り
 ④表の読み取り
 ⑤表の読み取り
 ⑥表の読み取り
 ⑦表の読み取り
 ⑧表の読み取り
 ⑨表の読み取り
 ⑩表の読み取り
 ⑪表の読み取り
 ⑫表の読み取り
 ⑬表の読み取り
 ⑭表の読み取り
 ⑮表の読み取り
 ⑯表の読み取り
 ⑰表の読み取り
 ⑱表の読み取り
 ⑲表の読み取り
 ⑳表の読み取り
 ㉑表の読み取り
 ㉒表の読み取り
 ㉓表の読み取り
 ㉔表の読み取り
 ㉕表の読み取り
 ㉖表の読み取り
 ㉗表の読み取り
 ㉘表の読み取り
 ㉙表の読み取り
 ㉚表の読み取り
 ㉛表の読み取り
 ㉜表の読み取り
 ㉝表の読み取り
 ㉞表の読み取り
 ㉟表の読み取り
 ㊱表の読み取り
 ㊲表の読み取り
 ㊳表の読み取り
 ㊴表の読み取り
 ㊵表の読み取り
 ㊶表の読み取り
 ㊷表の読み取り
 ㊸表の読み取り
 ㊹表の読み取り
 ㊺表の読み取り
 ㊻表の読み取り
 ㊼表の読み取り
 ㊽表の読み取り
 ㊾表の読み取り
 ㊿表の読み取り



各授業での分析ツールや思考ツール

まとめ・発表



学年・全校生徒の前で堂々と発表をする生徒

身につけたスキルの活用

・修学旅行の旅行業者に自分たちで立てた企画をスライドで発表。障害者の方日常を体験し発案した、震災の際に避難所で 私たちができること。読書離れを防ぎたいという思いで、 オープニングムービーまでこだわられた、生徒が計画運営した第一回ビブリアバトル。どれも事実を知ったところから始まり、これまでに身につけた情報活用能力が発揮されていた。どの発表・企画も最後に外部の専門家から講評をもらうことで、次の課題にも繋がった。

校内研修:生徒がより問題解決スキル(情報活用能力)を身につけるために

校内研修:「伝えたい問題解決スキルはたくさん。でも、時間が足りない。」を解決した他教員との現状確認

・伝えたい問題解決スキルはたくさんあるが、各教科で何度も一から取り組んでいては時間が足りない。しかし、生徒が他の授業でどのスキルが使えるようになったのかは分からない。そこで、校内研修内を用いて、各教科で生徒がどのスキル(課題の設定～まとめ・発表まで、14項目)を使えるようになったかを共有した。それにより、学年で発表の仕方は総合の時間に一斉に伝える、まとめ方動画の一覧をつくるなど、重複して行うことがなくなった。

生徒自らで、問題解決をするために身につけるスキル	
身に付けるスキル	問題解決のスキル(情報活用能力)
情報の収集	① 資料・資料の読み取り方法 A → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ② 情報の読み取り B → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ③ 情報の読み取り C → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ④ 情報の読み取り D → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑤ 情報の読み取り E → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑥ 情報の読み取り F → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑦ 情報の読み取り G → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑧ 情報の読み取り H → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑨ 情報の読み取り I → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑩ 情報の読み取り J → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑪ 情報の読み取り K → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑫ 情報の読み取り L → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑬ 情報の読み取り M → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑭ 情報の読み取り N → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑮ 情報の読み取り O → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑯ 情報の読み取り P → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑰ 情報の読み取り Q → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑱ 情報の読み取り R → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑲ 情報の読み取り S → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑳ 情報の読み取り T → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉑ 情報の読み取り U → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉒ 情報の読み取り V → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉓ 情報の読み取り W → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉔ 情報の読み取り X → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉕ 情報の読み取り Y → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉖ 情報の読み取り Z → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと
整理・分析	① 課題の設定 A → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ② 課題の設定 B → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ③ 課題の設定 C → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ④ 課題の設定 D → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑤ 課題の設定 E → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑥ 課題の設定 F → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑦ 課題の設定 G → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑧ 課題の設定 H → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑨ 課題の設定 I → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑩ 課題の設定 J → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑪ 課題の設定 K → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑫ 課題の設定 L → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑬ 課題の設定 M → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑭ 課題の設定 N → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑮ 課題の設定 O → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑯ 課題の設定 P → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑰ 課題の設定 Q → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑱ 課題の設定 R → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑲ 課題の設定 S → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ⑳ 課題の設定 T → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉑ 課題の設定 U → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉒ 課題の設定 V → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉓ 課題の設定 W → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉔ 課題の設定 X → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉕ 課題の設定 Y → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと ㉖ 課題の設定 Z → 国語、算数・理科の授業で学ぶこと

校内研修で用いたスプレッドシートより

リーディング DXスクール事業【実践事例】

久喜市立鷲宮東中学校(埼玉県)【指定校】

【取組内容】 離れていてもその道のプロとつながる情報活用能力の育成

1年生:総合的な学習の時間
「学校での避難生活は地域の人にとって安心？
～自分たちができることを考えよう～」

久喜市の危機管理監である宮本さんに来校していただき、防災学習の導入として、ハザードマップを用いた授業を1クラスで実施。その他5クラスはオンラインで授業の様子を見て、後半は各クラスからの質問を全クラス周って回答していただいた。

Chromebookを見ながら、ハザードマップにメモをするなど学習環境が整った中で、専門の方の話を聞いた。その後の学習に意欲的に取り組む生徒の姿が多く見られた。



3年生:総合的な学習の時間
「旅行会社の社員として企画書をつくろう」

修学旅行の振り返りとして各行動班で企画書をGoogleスライドの共同編集で作成し、発表をした。各クラスの代表班が作成した企画書を旅行会社の中学校修学旅行担当の方へ送信し、審査をしていただいた。

繁忙期につき予定が合わず、実際に来校はしていただけなかったものの、グランプリや準グランプリなどの賞が選んでいただき、さらに各班の企画書にプロからの視点での講評も送っていただいた。



ノミネート作品③ 5組2班

メンバー:

ポイントを絞り、文字を大きくすることによりインパクトもあり見やすいですね。

全体を通して写真のチョイスもバランスが取れていて非常にいいですね。

あえていうなら表紙にある「ゆったり、ゆったり、のんびり」が企画書の中にあるととっても良かったと思います。

